

連載「わたしの福祉論」 94

ニュージールランドの 福祉について

しょうけいがいん
尚綱学院大学

教授 八巻 正治

私はこれまでニュージールランドの福祉について学んできました。そこで今回は、この国の大規模収容型福祉施設の解体閉鎖の経緯について述べてみたいと思います。

キンバリー・センターの解体閉鎖

ニュージールランドでは、二〇〇六年にすべての大規模収容型施設の解体閉鎖作業を終えました。最後まで残っていたのは、北島のレヴィンという小さな田舎町にあった、知的制約者の大規模居住型施設でした。

さて、ピート・ホジソン保健大臣は、二〇〇六年十一月のニュージールランド議会において「大規模収容型施設の終焉」と題した、次のようなスピーチを行っています。

私は、これまでわが国が施設解体閉鎖や、インクルージョンを保証する最前線にあった

ことを誇りに思っている。デイスアピリテイを有する人が大規模型の福祉施設から地域社会の小規模住宅に住むに至るまでの運動が長い間、続けられてきたが、キンバリー・センターの閉鎖によって、我々は最後の施設の閉鎖を目撃したのである。

ニュージールランド・デイスアピリテイ方策のポイントは、人びとに通常の生活を附与することにある。そしてそれは、この国の人びとすべてが有している権利でもある。しかしこうした認識に到達するまでには長期間を要する必要があった。

一九三〇～一九四〇年代においては、ファミリードクターは、デイスアピリテイを有して生まれてきた赤ちゃんの両親が病院から我が子を自宅に連れ帰ることを思い止まらせようとした。その代わりに医療機関に措置するように促し、赤ちゃんの存在を忘れるように促した。その理由は、たとえ自分たちの子どもを自宅に連れ帰ったとしても、利用可能な支援サービスがわずかしかなかったからである。

一九七三年に医療機関に関する王立委員会が知的制約者の支援サービスについて報告を行った結果、王立委員会は知的制約者への医学ケアのモデルを拒絶し、病院型施設の凍結を推奨し、地域支援サービスの拡充を提案した。これは一九七五年に国連総会で提唱され

た権利宣言によって意味づけられ、この権利宣言はそれ以降、わが国政府の政策の基底となり、精神医療機関における保護措置の停止を導き、医療型施設での保護政策を締めくくる過程を導き出した。そして大規模居住型施設は、もはや知的制約者にとつての適切な支援環境ではないことが明確になっていったのである。そして一九八八年に、多くの知的制約者たちが、精神医療型施設でのケアから地域社会での支援形態へと移行をしたのである。今や我々は大規模居住型施設の解体閉鎖を祝うまでになった。我々の政府はデイスアピリテイを有する人たちが、可能な限り通常の生活を送ることが可能となるように支え続けることを決心している。私は知的制約を有するすべてのニュージールランドの人びとの生活の質を改善するために共に働くことを楽しみにしている。

ところで、キンバリー・センターの解体閉鎖が発表されたのは二〇〇一年の九月でしたが、その際にルース・ダイソン担当大臣は、「大規模収容型施設におけるケアは、もはやふさわしくない。キンバリーの居住者たちは、他の人たちと同様に、個人的、医療的、そして社会的な必要を満たすための支援サービスを受けながら地域社会に住む権利を有している。」と述べ、「それはデイスアピリテイを有する人に対して、地域に密着したサービスが

ますが、町民の方々に根付いているように感じます。「集めていると聞いたので」と、たくさんのお書き損じハガキを持ってこられたり、ご家族で収集ボランティアをしているからと、定期的に窓口を持ってこられたり、職場で集められたりと、うれしくもありがたい声が聞こえており、私たちも大変励みになっております。

今後、定期的に、収集物をお送りしていただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

記

1 使用済み切手 (古切手)

2 書き損じハガキ (未使用年賀ハガキ、往復用ハガキを含みます)

(熊本県 湯前町ボランティア連絡会)

会長 地内 豊子

◇一年分の切手

活用して

一年分の切手が溜まりましたので、郵送します。

ご査収ください。

◇本社ビルで東京都 立花建設株式会社

収集した古切手

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、例年どおり本社ビル内で収集した使

用済み切手を、下記のとおり送付させていただきますので、なにとぞよろしくご査収ください。

仕分けに関しましては、簡単に整理させていただきますが、ご要望などがありましたらご連絡願います。

微力ながら、貴方の活動にお役立ていただければ幸いです。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

敬具

1、送付

平成二十一年十一月十九日 貴方あて郵便小包で送付させていただきました。

2、送付量

使用済み切手 約一、八八五kg

(住友生命保険相互会社 大阪広報センター)

◇ボランティアBOXで

古切手・カードを

いつもお世話になっております。

第一生命 姫路支社ではお取引企業様の事業所にて、『ボランティアBOX』という形で回収箱を設置させていただき、古切手・使用済みプリペイドカードの収集にご協力いただいております。

今回、集まりました古切手を下記の通り送付させていただきます。

どうぞよろしくお願い致します。

○古切手 六、三〇〇g

○使用済みプリペイドカード 535枚

(第一生命保険相互会社)

姫路支社 営業推進

◇社会貢献として

テレカなどを集める

拝啓

皆様にはますますご健勝のことと、お慶び申し上げます。

日ごろは大変お世話になりまして厚くお礼を申し上げます。

磁気カードを送付させていただきましたので、どうぞお役立ててください。

(九、六五〇枚)

よろしくお願い申し上げます。

敬具

(東京都 懶荏原製作所)

CSR企画室 社会貢献グループ)

◇一年間 社内で集めた古切手

今後も続ける

拝啓 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、平素は、格別のお引き立てにあずかりまことにありがとうございます。

さて、弊社では、日頃社内において古切手・使用済みカードの収集を推進しております。

この結果、これまで(約一年間)に集まり